



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社 INFORICH 上場取引所 東  
コード番号 9338 URL <https://inforich.net>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼執行役員CEO (氏名) 秋山 広宣  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員CFO (氏名) 橋本 祐樹 TEL 03 (4500) 9221  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	5,390	87.2	840	—	259	—	376	—	251	—
2022年12月期第3四半期	2,879	—	—	—	△1,250	—	△872	—	△890	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 132百万円 (—%) 2022年12月期第3四半期 △1,203百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	27.06	26.25
2022年12月期第3四半期	△99.51	—

- (注) 1. 2022年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、また、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
2. 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。
3. 2023年12月期第2四半期より新たにEBITDAを記載しており、2022年12月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
4. EBITDA = 営業損益 + 減価償却費

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	7,296	2,646	36.1
2022年12月期	5,992	2,437	40.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 2,637百万円 2022年12月期 2,427百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%			百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,563	72.3	1,296	—	482	—	584	—	495	—	53.29

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2023年12月期の連結業績予想における一株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

3. EBITDA = 営業損益 + 減価償却費

4. 連結業績予想の修正については、本日（2023年11月14日）公表しました「2023年12月期 連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	9,316,200株	2022年12月期	9,233,100株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	59株	2022年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	9,284,611株	2022年12月期3Q	8,952,600株

（注）当社は、2023年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2023年11月15日（水）にライブ配信による四半期決算説明会の開催を予定しております。また、当日使用する四半期決算説明会資料はTDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の流行による景気へのマイナス影響がおさまり、景気が緩やかに持ち直していると言えます。雇用も緩やかに改善していますが、物価高の影響により個人消費は大幅な増加には至っていません。しかし、今後はコロナ禍の収束と賃金の伸び率拡大が期待され、景気へのプラス要因となる見込みです。インバウンドの旅行客もしばらくは増加傾向が続き、円安の影響を受けることで消費行動も堅調に推移すると考えられます。一方で、国際情勢は不透明感を増しており、依然として先行きに対する懸念が続いている状況にあります。

当社グループの主な事業領域であるシェアリングエコノミー領域においては、一般社団法人シェアリングエコノミー協会と株式会社情報通信総合研究所が共同で発表した「シェアリングエコノミー関連調査2022年度調査結果」において、2022年度のシェアリングエコノミー市場規模が過去最高となる2兆6,158億円を超え、さらに2032年度には約5.7倍の15兆1,165億円となることが分かりました。

このような状況の中、当社グループは、ChargeSPOT事業の拡大に取り組むべく、積極的な投資を進めるとともに、パートナー企業との連携を強化してまいりました。また、バッテリースタンドの設置台数は2023年9月末時点で当社グループ全体では49,870台、国内では41,900台となり、「どこでも借りられて、どこでも返せる」の実現に向けて増加させております。月間アクティブユーザー数（四半期平均）は当社グループ全体では1,060千人、国内では751千人になりました。月間レンタル数（四半期平均）も当社グループ全体では195万回、国内では144万回になるなど、着実にサービスの裾野が広がっています。さらに、これからも成長を続け、日本を代表するクロスボーダー企業となるため、そして持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指すため、2023年8月に中期経営計画「Vision2030」を策定しました。同時に、国内外のチームが一丸となって成長を加速させるために、当社の存在意義と目指す世界を再定義し「Bridging Beyond Borders -垣根を越えて、世界をつなぐ-」という新しいMission Statementを策定し、新たなスタートを切っております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は5,390,891千円（前年同四半期比87.2%増）、EBITDA（注）840,728千円、営業利益は259,039千円（前年同四半期は営業損失1,250,878千円）、経常利益は376,587千円（前年同四半期は経常損失872,443千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は251,203千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失890,909千円）となりました。

当社グループといたしましては、今後もサービス品質のさらなる向上を念頭に置きながら、サービスの認知度向上及び利用拡大へ取り組んでまいります。

なお、当社グループはChargeSPOT事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,884,091千円（前連結会計年度末比1,218,307千円増）となりました。これは主に、現金及び預金が1,266,637千円増加したこと等によるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は2,412,013千円（前連結会計年度末比84,992千円増）となりました。これは主に、バッテリースタンドの新規設置に伴うリース資産が343,060千円増加し、また、工具、器具及び備品が194,609千円増加したこと等によるものであります。

#### (流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,941,893千円（前連結会計年度末比1,189,959千円増）となりました。これは主に、契約負債が642,784千円、短期借入金が337,300千円増加したこと等によるものであります。

#### (固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は708,199千円（前連結会計年度末比94,860千円減）となりました。これは主に、リース債務が127,934千円減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,646,011千円（前連結会計年度末比208,200千円増）となりました。これは主に、第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）及び新株予約権の行使による新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ38,229千円増加し、また、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が251,203千円増加した一方、為替換算調整勘定が117,566千円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年8月10日に公表しました業績予想から修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「2023年12月期 連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(注) EBITDA = 営業損益 + 減価償却費

なお、2023年12月期第2四半期より新たにEBITDAを記載しており、前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,614,044	3,880,681
売掛金	76,687	105,275
貯蔵品	43,173	4,542
未収入金	494,455	641,343
その他	464,708	288,769
貸倒引当金	△27,284	△36,522
流動資産合計	3,665,784	4,884,091
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	1,048,514	1,243,123
リース資産	1,540,164	1,883,224
建設仮勘定	442,924	362,394
その他	83,893	87,426
減価償却累計額	△849,574	△1,232,230
有形固定資産合計	2,265,922	2,343,939
無形固定資産	12,995	13,127
投資その他の資産		
破産更生債権等	158,616	172,061
その他	48,103	54,946
貸倒引当金	△158,616	△172,061
投資その他の資産合計	48,103	54,946
固定資産合計	2,327,021	2,412,013
資産合計	5,992,805	7,296,104

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	716,000	1,053,300
1年内返済予定の長期借入金	39,600	15,600
リース債務	852,033	876,230
未払法人税等	54,846	27,118
契約負債	511,542	1,154,327
引当金	48,012	48,282
その他	529,898	767,034
流動負債合計	2,751,934	3,941,893
固定負債		
長期借入金	12,000	40,300
リース債務	791,060	663,126
その他	—	4,773
固定負債合計	803,060	708,199
負債合計	3,554,994	4,650,093
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	218,707	256,937
資本剰余金	6,007,488	6,045,718
利益剰余金	△3,507,998	△3,256,794
自己株式	—	△182
株主資本合計	2,718,197	3,045,678
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△290,808	△408,374
その他の包括利益累計額合計	△290,808	△408,374
新株予約権	5,393	5,212
非支配株主持分	5,029	3,495
純資産合計	2,437,811	2,646,011
負債純資産合計	5,992,805	7,296,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	2,879,459	5,390,891
売上原価	921,862	1,387,105
売上総利益	1,957,596	4,003,786
販売費及び一般管理費	3,208,474	3,744,746
営業利益又は営業損失(△)	△1,250,878	259,039
営業外収益		
受取利息	1,044	5,797
為替差益	401,788	180,809
助成金収入	—	8,620
その他	23,567	2,202
営業外収益合計	426,400	197,430
営業外費用		
支払利息	43,962	77,899
貸倒損失	3,807	—
その他	196	1,982
営業外費用合計	47,965	79,882
経常利益又は経常損失(△)	△872,443	376,587
特別損失		
減損損失	15,810	100,479
固定資産除却損	—	1,009
リース債務解約損	—	6,362
特別損失合計	15,810	107,850
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△888,253	268,736
法人税、住民税及び事業税	5,521	15,852
法人税等調整額	8	3,214
法人税等合計	5,530	19,066
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△893,783	249,669
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,874	△1,533
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△890,909	251,203



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△893,783	249,669
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△309,805	△117,566
その他の包括利益合計	△309,805	△117,566
四半期包括利益	△1,203,589	132,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,200,714	133,637
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,874	△1,533

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。